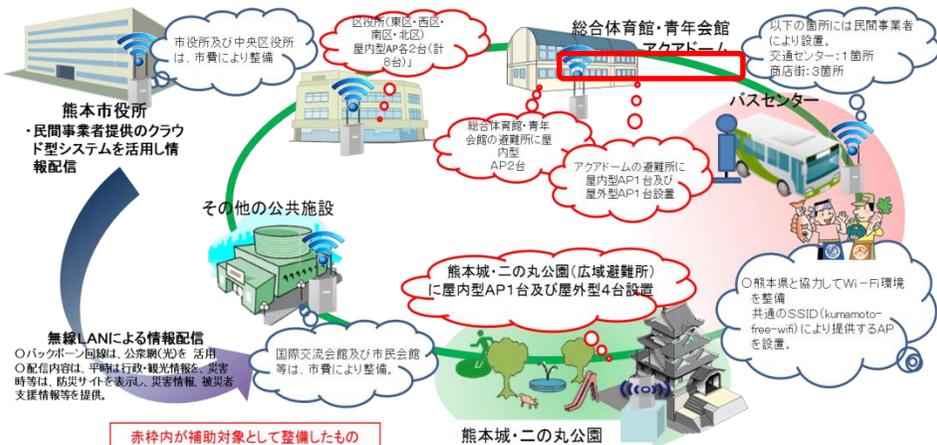


# Wi-Fi補助事業の活用事例①(熊本市)

- 災害対策本部が設置される区役所や避難場所にWi-Fi環境を整備するとともに、これらを通じて市民や観光客等に防災情報を配信する機能を有する情報通信環境を構築。
- Wi-Fiにアクセスした際に熊本市のホームページを表示し、生活情報、観光情報等を提供。災害時には、熊本市のホームページの防災サイト上で、災害情報や被災者支援情報などを提供することにより、災害情報や被災者支援情報等を提供。

- ・ 日本語、英語、中国語<繁体字・簡体字>、韓国語の5言語に対応。
- ・ 青少年フィルタリングを設定し、有害サイトへのアクセス制限を実施。

## 【事業イメージ】



- ・「くまもと無料Wi-Fi」のサービス提供スポットは、県内で169施設431箇所。(平成28年3月時点)
- ・熊本地震の発生を受け、接続開放を実施。通常時と異なりメールアドレスの登録不要。

## 利用数※

◆熊本地震の発生を受け、利用が拡大。特に発災直後の4月16日(土)の補助対象施設におけるWi-Fi利用数は1日当たり約2,500回。

## 【補助対象施設(8箇所)における利用数】

	平成28年3月の実績	平成28年4月の実績
1ヶ月の累計	7,321回	16,205回
うち青年会館	340回	3,768回
1日当たり平均	約236回	約540回
うち青年会館	約11回	約126回

※ 利用者がWi-Fiに接続した回数。同一人物であっても、接続が解除された際に再度接続すれば改めて換算される。